

委員会行政視察報告書

委員会名	空港等まちづくり対策特別委員会
出席委員等	南 良徳 委員長 谷 展和 副委員長 古谷 公俊 澁谷 昌子 大森 和夫 和気 信子 梶本 茂麿 木下 豊和 中尾 広城 議長 【随行】藤原 秀紀・塩谷 周平（議会事務局）西田 満（総合政策部長）
実施年月日	平成26年2月24日（月）午後2時00分～
視察先	関西国際空港
視察項目	関西国際空港島内KIXメガソーラ、泉州PRブース他視察 概要の説明ならびに意見交換会
視察結果	
<p>意見交換会に先立ち、現地視察を実施。KIXメガソーラ（2期島）、第2ターミナル（関空まち処）（2期島）、エアロプラザ（泉州PRブース）の視察を行った。</p> <p>その後、「新関西国際空港(株)の概要について」約1時間にわたり説明を受ける。</p> <p>関西国際空港の概要については、2013年冬スケジュールは、夏・冬通して開港以来最高の862便となり、特にネットワークの関係では、アジア地域が週687.5便（80%）を占めている。関西国際空港の国内線ネットワークは、11都市と就航し1日あたり66便となっている。また、LCCは特に成長が著しい分野である。低運賃で、今まで利用されなかった顧客を対象に、関空では積極的にLCCに力を入れている。</p> <p>国際線LCC便数は、2013年冬で19.6%と増加傾向となっている。Peach Aviationは、2012年3月の就航から次々と路線を開設している。2014年2月から松山線、新たに就航されて、ますます充実してきている。LCC専用第3ターミナルビルは、2016年下期供用開始予定で、国際線専用となるとのことでした。</p> <p>次に、フェデックスにおいては、北太平洋地区ハブ（北アジアから貨物を集約し、米国向けに発送するための中継拠点）として、関空で2014年春頃、延べ床面積約25000㎡で、オペレーション体制（24時間）開始が予定されている。</p> <p>関空と地域連携については、2014.2.23にエアロプラザ内に泉州PRブースがオープンし、地域と連携した観光情報の発信・地域物産のPRする取り組みがなされている。</p> <p>また、二市一町（泉南市、泉佐野市、田尻町）の魅力を地域の内外に発信するため、原動機付自転車のナンバープレート制作が企画され、関西国際空港開港20周年に合わせて、2014年9月予定に、合計5000枚を交付されるとのことでした。</p> <p>質疑では、顧客に対するサービスについて、新たに大きなターミナルについては、今の関空の体力では難しいが、LCCの需要の伸びにより第3ターミナル、さらには、第4とまずは考えていきたいとのことでした。</p> <p>東京オリンピックの関空としての対応策はあるのかとの問いに、空港だけで考えるのはなかなか難しい、地域の皆様と連携をとり、全体として関空を盛り上げて頂き、考えていきたい。また、「新関空モデル」の経営方針について具体的に示してほしいとの問いに、本モデルについては、新関空会社で行っていく方針であり、なお、具体的詳細資料については、後日送付したいとのことでした。</p> <p>例えば免税店を関空外につくること等、関空島の外に人の流れをつくることについて考えられているのかとの問いに、関係団体と調整するなど、検討を行っていきたいとのことでした。</p>	

■ 総 括

時間的配分の厳しい日程の中、視察が実施されましたが、新関西国際空港株の担当職員による説明に対し、各委員から活発な質疑が行われ、大変充実した視察であったと考えており、十分に所期の目的を達成することができたと考えております。

今回の視察により得た内容については、今後の市政に反映させるとともに、空港とまちづくりと市の発展につなげていきたいと考えております。

上記のとおり報告いたします。なお、資料等については、別添のとおりです。

平成 26 年 2 月 25 日

空港等まちづくり対策特別委員会

委員長 南 良徳



K I Xメガソーラー（2期島）にて





大阪泉州 まるわかり屋 (泉州PRブース)





南 良徳 委員長より挨拶



意見交換会